

# 中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

## センター「高校生クライミング教室」

9月8日、9日とセンターの高校生クライミング教室が開催された。募集人員25名のところ、直前キャンセルはあったものの須坂、大町、池工、深志、県ヶ丘、柏崎の6校から32名の高校生（内女子4名）と5名の顧問計37名が参加した。ロックジムほりえの堀江謙一さんを主任講師にセンターのボルダ一壁と運動公園の人工壁を使って、講習が展開された。ちょっと古い話になるが、この講習会の第1回目が開催されたのは2002年の9月のこと、高体連から開催を申し入れ後援をするということでの開催だった。もともと高体連として、「生徒を指導できる指導者の育成をしたい」という思いから始まったものだ。しかし、センターとしてはどうせやるのであるのなら顧問だけでなく生徒も一緒にやれば一石二鳥ではないかということもあり、「高校クライミング研修会」（注：高校生ではない）というネーミングで始まった。その意味で当初から僕らの思いとは少々ズレて始まった部分もあった。このあたりの経過はかわらばんの13号（2002.5.20）、14号（2002.6.16）、18号（2002.7.12）、19号（2002.7.19）、20号（2002.7.29）、23号（2002.8.18）、25号（2002.9.16）に記載してあるので、興味のある方は再読いただければと思う。

以来すでに10年あまりが経過して、県内のクライミングジムも増えたにも関わらず県内の高校現場におけるクライミング事情は当時と大きく変わってはいないというのが率直な僕の思いである。以下は積極的に山岳部活動にクライミングを取り入れている大町の小沼先生のお誘いである。興味のある方は一読の上ぜひ一緒にいかがでしょうか？

## 県下高校生スポーツクライミングの様子 小沼拓也（大町高）

### 1、県内の状況

昨今、施設の増加やメディアでの紹介により、スポーツクライミング人口は都市部を中心に急増しています。県内でも、例えば松本市島内にエッジ・アンド・ソファという国内有数の立派なボルダリングジムが一昨年できましたが、そこからこのスポーツを新たに始める人たちが生まれています。また、県内には主なジムが7ヶ所あり（公設人工壁を除く）、いずれのジムでも小中高校生の姿をよく見かけるようになりました。さらに小学生を中心としたクライミングの地域クラブは県内に3ヶ所あり、定期的な活動を広げ、今夏は小学生対象の県大会も初めて開催されました。このように県下でも人気の上昇と若年層への広がりが見えますが、やはり未だ個人で楽しむ域を出ていません。また、地域クラブで腕を磨いた小学生もそのほとんどが中学では他のスポーツに移ります。

本来登山技術の一部であるクライミングは、それを山岳部の活動に取り込むことで、部員の増加や登山との相乗効果といったプラス作用があります。また、スポーツの裾野を広げさらなる発展を期すためにも、高校生の潜在的需要を掘り起こし経験者の継続を促す「部活」という受け皿が欠かせません。クライミングは2020年のオリンピック種目候補（来年IOCにて選考）にもなっていますが、それに先んじて、県下でも活動にクライミングを取り入れる山岳部が増えることを願っています。

## 2、高校生の主なクライミング大会

- 6月中旬 県大会（国体予選を兼ねるが、レベル別競技で誰でも参加可能）
- 7月下旬 北信越国体（国体山岳競技はボルダリングとリードクライミングの2種目）
- 8月中旬 JOC ジュニアオリンピックカップ（県選抜選手数名 会場：富山県）
- 10月上旬 国民体育大会 山岳競技
- 12月下旬 全国高校生選抜クライミング大会（高体連主催学校対抗戦会場：埼玉県）
- 3月 JFA ユース日本選手権

各種大会の現状：高体連主催の大会は2010年から始まった。国体や全国大会は県下高校生のトップ2名ほどが対象だが、高校から始めた子も多く出場している。特に女子は層が薄いため全国大会出場のチャンスが大きい。

上記は公式大会で、民間ジムにおいては定期的にコンペが開かれている。

## 3、練習環境 【私の知っている範囲です】

### ① 主な民間ジム（詳細はHPで）

ロックジム ほりえ（松本市寿）リード壁・ボルダリング壁

アートウォール（長野市真島）リード壁・トップロープ壁・ボルダリング壁

ロッククライミングセンター（佐久市）リード壁・ボルダリング壁

エッジ・アンド・ソファ（松本市島内）ボルダリング壁

ノボリバ（更埴市）／**Hang Dog**（長野市）／**アルティメイト**（駒ヶ根市）

### ② 公設壁

大町市運動公園・駒ヶ根市・松本空港・松本市体育館・小谷村ちゃんめろ体育館・白馬村白馬ウイング・大町市山岳総合センター・その他高校など

### ③ 研修等

山岳総合センターの各種研修会

※ 研修会はセンターのものしか思い浮かびません。各ジムでは初心者には一定の指導をしてくれます。団体でも個人でも、頼めばスタッフが色々教えてくれます。

## 4、その他

全国を見渡すと、県山岳連盟/協会のチームで育成された選手も多くいますが、山岳部に所属している子もかなりいます。全国大会出場者の3分の1くらいは山岳部員でしょう。少年種目の強豪県には拠点校のある所も多いのですが、特に千葉、鳥取、静岡、大分の活躍がめざましく、山岳部顧問が指導に当たっています。（東京のジムなどで活躍校を見る限り、顧問の先生が壁を登る姿は見ません。自分では壁に登らない人が多いようです。初心者に基礎技術や安全面は教えるのですが、あとは生徒同士でビレイさせ、切磋琢磨を見守っています。）

大町高校では平日は市運動公園、休日は色々な場所で練習します。特に冬場は登山が少なくなるため、ジムでのクライミングを盛んに行います。今回の研修での生徒の様子を見るにつけ、やはり生徒相互のやりとりや競い合いでモチベーションは上がるものと感じます。そのためこれからも他校との合同練習を積極的にやりたいと思います。今冬はジムの協力も得て（利用料割引）、松本近郊のジムでボルダリングの合同練習を企画します。その際は連絡しますので是非ご参加ください。